

北区の財政と防災まちづくり

平成25年度の一般会計当初予算は1346億200万円で、前年度に比べて、4%の増となっています。

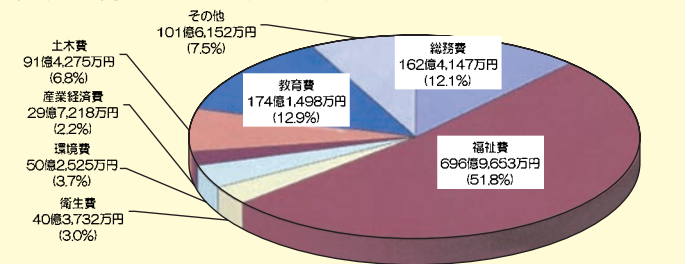
内容は、特に3つの優先課題として「地震・水害に強い安全・安心なまちづくり」への取り組み、「長生きするなら北区が一番」の実現、また「子育てするなら北区が一番」をより確かなものにするための施策に全力で取り組むことになっています。

まず「地震・水害に強いまちづくり」では新たな「北区地域防災計画」の着実な推進をはじめ、公共施設の耐震化では赤羽会館の耐震設計、倒壊の危険性が高い老朽家屋について除却費の助成、集中豪雨対策では桐ヶ丘中央公園、赤羽緑道公園、八幡通り児童遊園、観音橋脇区道(北73号)に雨水を一時貯留するための地下貯留施設が設置されます。

「長生きするなら——」では、高齢者あんしんセンターを核に、地域の見守りや支え合いの仕組みの強化、サポート医の増員や在宅介護医療連携推進会議に検討部会を設置して介護と医療の連携強化、高齢者ヘルシー入浴補助券・シニア割引券が拡充されます。

また「子育てするなら——」では保育所待機児童解消へ向けて保育所の新設や増設による定員の拡大、放課後子どもプランの拡充が図られます。

平成25年度 一般会計当初予算(目的別歳出) 予費額 1,346億9,200万円



区の予算1,000円の使われ方(平成25年度当初予算より)

- 357円: おとしりや体の不自由な方などのために
- 160円: 保育園や児童館の運営などに
- 30円: 健康づくりや健康診断などに
- 90円: 小学校、中学校、幼稚園などの運営に
- 39円: 図書館、体育施設の運営などに
- 22円: 商工業の振興などに
- 68円: 公園や道路の整備などまちづくりに
- 6円: 区議会の運営に
- 37円: 清掃事業や環境・リサイクル対策などに
- 33円: 特別区債の償還などに
- 121円: 安全・安心、防災対策や区民施設の管理運営などに
- 36円: その他(財政調整や予備費など)

どのように使われるの?

このように、みなさんが納めた税金は、わたしたちの暮らしに大いに役立っています。

端数処理の都合上合計は合いません

北区の財政

「北区地域防災計画」の改定

この計画では、首都直下地震の発生による北区の「被害想定」を次のように軽減する目標をたてています。

【死者想定】約180人から約70人以下に(6割減少)

【避難者想定】約7万3,100人から約4,000人以下に(4割減少)

【建築物の全壊棟数想定】約3,400棟から約1,300棟以下に(約6割減少)

以上の目標を達成するため、区では次の対策に取り組むことにしています。

- ・建物の耐震化
- ・家具類の転倒・落下・移動の防止対策推進
- ・救出・救護体制の強化
- ・木造住宅密集地域の不燃化

- ・区民や事業者の火災対応の強化
 - ・消防力の充実・強化
- さらに、東京都と連携して帰宅困難者の安全確保するために
- ・一斉帰宅抑制実現のための区内事業者等の備蓄対策の推進
 - ・家族との連絡手段・発災後の行動を考えておくなど事前準備の啓発
 - ・徒歩帰宅者のための帰宅支援道路を指定し、滞留者等に安全・広報
 - ・沿道の帰宅支援ステーション等を整備し、より一層の安全・安心を確保

地区防災運営協議会の設置

このほか、区では今年度から3か年かけて区内19か所に「地区防

災運営協議会」を設置することになりました。

構成メンバーは、自主防災組織のほか地区本部参集職員、学校参集職員、PTA関係者、学校関係者、ボランティア事業者、民生委員、警察署、消防署等が加わり、「地区防災会議」の機能強化・活性化、地域の防災意識・結束力の向上、災害時の防災態勢の迅速な構築に取り組みます。

構成メンバー(案):イメージ

